王子公園再整備事業（設計・施工一括発注）
提案概要書（提案者）りんかい日産・東亜道路・内藤ハウス・梓・パシフィックコンサルタンツ・E-DESIGN特定建設工事共同企業体

この概要書は事業予定者から提案されたものであり、確定したものではありません。
また、設計・施工一括発注の対象外部分は事業予定者がイメージしたものであり、
実際の整備内容を示したものではありません。

公園の魅力を継承し、地域に開かれみんなが憩い楽しく利用できる【THE OJI PARK】を整備し、新たなにぎわいを創出します

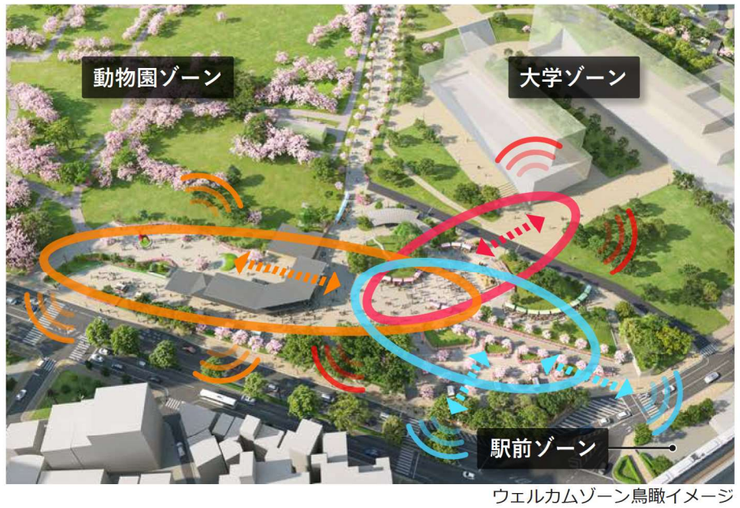
提案概要
王子公園の魅力向上させる3つのコンセプト「Open」「Join」「Inclusive」

OPEN 地域・市民に開かれたオープンな公園

- 公園全体が地域活動を支える基盤となり、市民の日常生活に寄り添った公園を提案します。
- 親しみやすい施設づくりを目指すことで、日常利用だけでなく、災害時の地域の防災拠点として市民の安心を支える公園を目指します。
- 敷地の形状を活かし、開放性が高くみんなが気軽に立ち寄れる公園を提案します。

都市（駅・大学・動物園）と調和し賑わいを発信する広場空間

- 阪急王子公園駅や王子動物園、大学などの**都市機能が隣接する南側に「都市 × 公園」の結束点「ウェルカムゾーン」を整備します。**
- **阪急王子公園駅に面する溜まり空間は**、待ち合せスポットや地域コミュニティの活動拠点として都市の**新たなシンボル**として整備します。
- 整備が予測される大学アプローチ空間を意識し、大学ゾーンに面する場所に**学生の歩行者空間と滞留空間が一体的につながる広場**を創出し大学ゾーンとの調和を図ります。
- 動物園ゾーンは、園内外が視覚的につながるメインゲートを整備し動物園の賑わいが広場全体に波及され、それぞれの賑わいの相乗効果を生み、**王子公園全体の賑わいを都市へ向けて発信する広場**とします。



ウェルカムゾーン鳥瞰イメージ

JOIN ひと・地域・緑・景観をつなぐ公園

- 「まち × 公園」、「公園 × 施設」、「公園 × ひと」など、まちと公園の関係性を強固につなぐ公園環境を整備し、市民の活動を支えることで、年齢の垣根を超えた地域のシンボルとなり、永く愛される公園を目指します。
- 美しい自然と資産を未来へ継承していくため、周囲の緑や景観が繋がる公園を提案します。

まち（周辺居住地）に開かれみんなに親しまれるスポーツ広場

- 美しい六甲山系の景観を背景とした住宅地や教育・スポーツ施設が集約された**良好な住環境の北側に「まち × 公園」の結束点「スポーツゾーン」を整備します。**
- スポーツゾーンは、**誰もが気軽に立ち寄ることができ親しみを感じられる開放的な広場**とします。広場には、散歩道やランニングコースをはじめ、アメリカンフットボール、陸上競技が可能なスタジアムを整備し、スポーツ意識の向上や健康促進を促します。
- 敷地の傾斜を最大限活かし周辺居住地や**公園と建築が一体となったシームレスな広場**とし、周辺居住地への圧迫感への低減と緑豊かな修景の調和に配慮します。

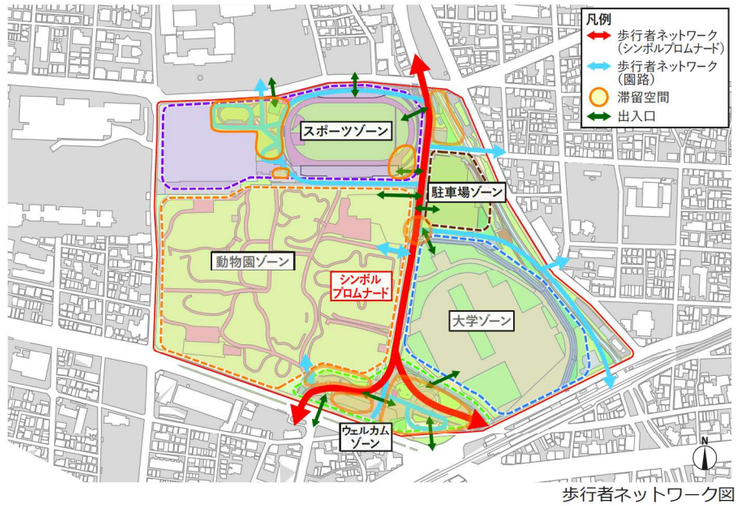
スポーツゾーン鳥瞰イメージ

INCLUSIVE 王子公園内外の賑わいを創出

- 「歩きたい！遊びたい！スポーツしたい！」を叶える、みんなのレクリエーションの新たな拠点をつくります。
- 施設利用者だけでなく、周辺居住者や学生など誰にとっても身近に活動を楽しむことで、貴市の活力創生の場となり、地域の活性化を目指します。

歩いて楽しい公園の骨格をつくる「歩行者ネットワーク」

- 周辺地域との接続性を考慮した「**歩行者ネットワーク**」を整備します。特に主要動線となるシンボルプロムナードには、王子公園駅や周辺居住地、動物園や大学、スタジアムや緑の広場など**全ての場所を結ぶ園路を計画し、多様な人流を生み出します。**
- 歩行者ネットワークは、シンボルプロムナードを主軸とし、それぞれの場所をつなぐ歩行者空間を縫うように整備し回遊性や多様性を高め、**公園全体のウォーカビリティの向上、活動の連続性を高めます。**
- 地域住民や周辺の学校に通う学生など多様な来園者に対し、人が溜まり易いアプローチ部や園路の交差点には、滞留空間を確保し**安全かつユーザビリティの高い動線計画**とします。



歩行者ネットワーク図

王子公園再整備事業（設計・施工一括発注）
提案概要書（提案者）りんかい日産・東亜道路・内藤ハウス・梓・パシフィックコンサルタンツ・E-DESIGN特定建設工事共同企業体

この概要書は事業予定者から提案されたものであり、確定したものではありません。
また、設計・施工一括発注の対象外部分は事業予定者がイメージしたものであり、
実際の整備内容を示したものではありません。

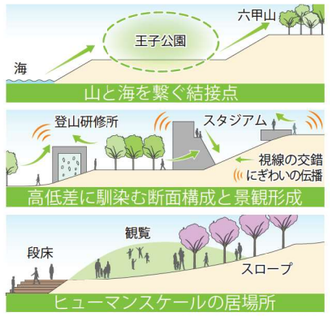
王子公園ならではの高低差を有効利用し、豊かな自然環境を最大限引き出す景観デザインとします

公園の立地条件によるデザインコンセプトや景観形成の方針

敷地の高低差を活用した景観づくりと周辺地域との調和

人々の行動と視線が交錯する豊かな傾斜地の創出

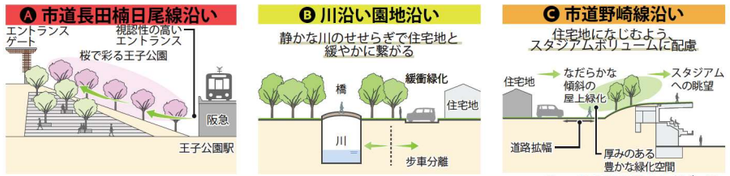
- 山と海を繋ぐ結節点として文化的に栄えてきた地域の歴史を継承し、傾斜地を活かした特徴的なデザインを実現します。
- スタジアムや登山研修所では高低差に馴染む断面構成と景観形成により周辺環境との調和を図ります。
- 随所に高低差を利用した段床やスロープ、法面を設けることでヒューマンスケールで居心地のよい空間を創出します。



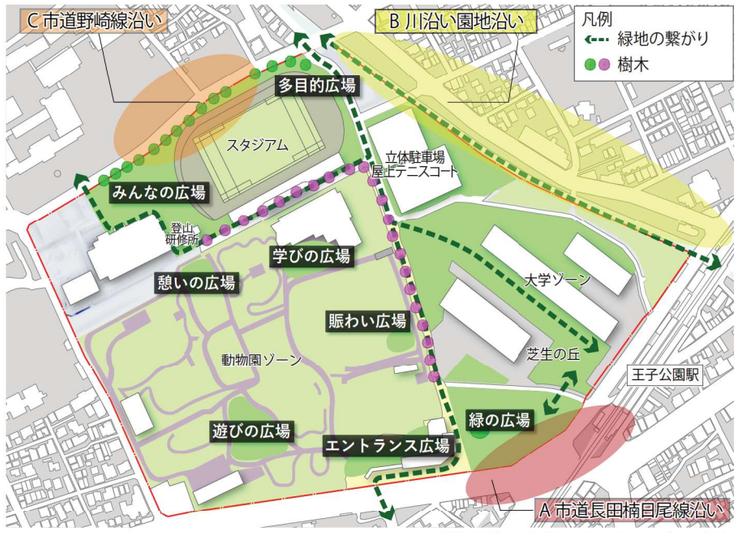
豊かな傾斜地の創出

街に開かれた緑のネットワークの創出

- 王子公園全体で「8つの広場」と「3つの境界部」をデザインすることにより、街に開かれた緑のネットワークを構築します。
- **A　市道長田楠日尾線沿い**　桜で彩られたスロープにより視認性の高いエントランスで人々を迎え入れます。
- **B　川沿い園地沿い**　緩衝緑地を設けることで公園と住宅地が緩やかに繋がります。
- **C　市道野崎線沿い**　住宅街に馴染むよう、歩道と北側スタジアムをなだらかに接続させ、屋上緑化へと誘導します。



3つの境界部のデザイン



街に開かれた緑のネットワークの創出

広域防災拠点、救援活動拠点としての機能を発揮するための工夫

公園全体を活かした広域防災拠点としての防災機能の確保・強化

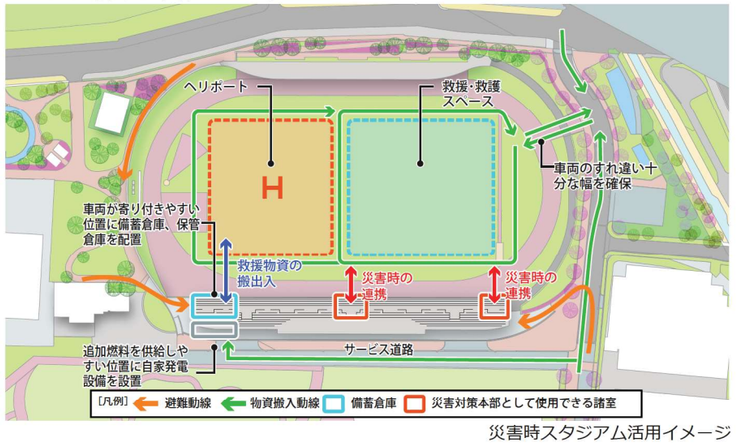
災害時の救助・救援動線の軸となるシンボルプロムナード

- 広域防災拠点、救援活動拠点として、災害時に起こる道路断絶や交通制限に順応できるよう、シンボルプロムナードの南北2ヶ所をメインの進入経路とし、**公園全体で5ヶ所の車両進入経路を確保**し、確実な支援物資受入れと供給が可能な計画とします。
- 救急車、消防車等の緊急車両を受け入れるシンボルプロムナードは、**十分な幅員と高い視認性**を確保することで、目的地へ迅速かつ安全に到着できる計画とします。

広域避難場所イメージ

まちの防災機能を強化するスタジアム

- 災害時はスタジアムのフィールドを、救援活動拠点として活用できる計画とします。**臨時ヘリポート及び物資集積スペースへ対応できる十分な広さを確保**します。
- フィールドに面して保管倉庫及び、備蓄倉庫を**緊急車両が寄り付きやすい位置に計画**します。
- 緊急車両の進入路はスタジアム東側の1ヶ所に集約し、有事の際に経路がわかりやすい計画とします。**通路幅は車両同士がすれ違いできる寸法を確保**します。



災害時スタジアム活用イメージ

夜間の景観に関すること

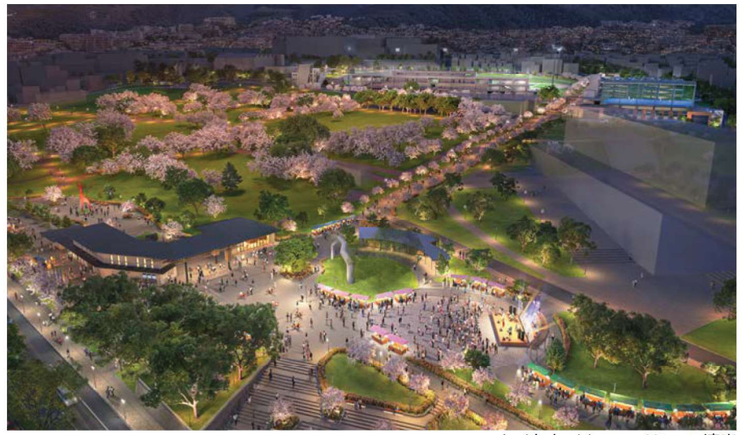
ナイトタイムエコノミーを演出し、安心安全を確保する照明計画

夜間の防犯性に配慮した「光のみち」

- 歩行者ネットワークを介して園内をはじめ、園内をめぐる外灯により**「光のみち」を形成**し、居住者や来園者が**安心できる安全な歩行空間**をつくります。
- 光のみちが次の目的地へ導くガイドとして機能することで、居住者や来園者がわかりやすく快適な歩行空間を形成します。

自然環境を最大限生かした照明演出

- 緑の広場とシンボルプロムナードについては、利用者の安心と安全に配慮しつつ主要な部分については平均照度 5lx を確保し、色温度を2700~3000K の暖色系で計画することで、**温かみのある夜間景観を演出し、ナイトタイムエコノミーを促進**します。
- 街灯の形や色を周囲の植栽や自然環境に合わせ、植栽が引き立つシンプルなデザインとします。
- 街灯だけではなく、スポットライトを適宜配置し植栽ごとの魅力を引き出す計画とします。
- スタジアム外周部には過度なフェンスを設けないことで、地域の球技大会やお祭りなどのイベント開催時に公園と一体に利用できる計画とします。


ナイトタイムエコノミーの演出

スタジアム夜間の地域イベント利用時のイメージ